

投資家・アナリストの皆様へ



あいおい損保 会社説明会

(2005年度中間決算報告を含めて)

2005年12月1日

あいおい損害保険株式会社

. 2005年度中間決算概要

1. 決算のポイント	P 1
2. 収入保険料の状況	P 2
3. 支払保険金の状況	P 5
4. 事業費の状況	P 6
5. 資産運用の状況	P 7
6. 資本の状況	P 8
7. 異常危険準備金の状況	P 9
8. あいおい生命 決算のポイント	P 10

. 2005年度通期業績予想

1. 業績予想のポイント	P 11
--------------	------

. 下期重点取組

1. 事業戦略(1)増収力の確立	P 12
2. 事業戦略(2)生産性・効率性の向上	P 16
3. 事業戦略(3)収益力の強化	P 17
4. 事業戦略(4)収益源の多様化	P 19
5. 資本政策	P 21
<参考> 中期経営目標 フォートレス・リー航空再保険の状況	P 22

. 2005年度中間決算概要

1. 決算のポイント

(単位: 億円 / %)

	2004年 9月末	2005年 9月末	増減		
			増減額	増減率	
正味収入保険料	4,163	4,188	25	0.6	
	3,822	3,855	33	0.9	
正味支払保険金	2,304	2,265	38	1.7	
	2,138	2,014	123	5.8	
正味事業費	1,342	1,368	25	1.9	
	1,342	1,368	25	1.9	
保険引受利益	92	42	50	-	
資産運用損益	192	161	31	16.2	
経常利益	72	89	17	23.5	
特別損益	0	58	59	-	
	特別利益	94	115	20	21.6
	特別損失	95	56	38	40.6
中間純利益	51	92	41	80.3	
正味損害率	59.6	58.3	1.3P	正味損害率は 損害調査費込み	
	60.6	56.9	3.7P		
正味事業費率	32.2	32.7	0.5P		
	35.1	35.5	0.4P		
コンバインド・レシオ	91.9	91.0	0.9P		
	95.7	92.4	3.3P		

正味収入保険料は、元受正味保険料の増収効果により0.9%の増収

正味支払保険金は、大口自然災害及び海外受再保険金の減少により5.8%の大幅減少

保険引受利益は、自然災害リスク対応のための異常危険準備金積増影響等により42億円

特別利益は、フォートレス・リー関連訴訟の受領金等により115億円を計上

中間純利益は92億円を確保

下段は自賠責政府再保険廃止影響除く

2. 収入保険料の状況 (1) 正味収入保険料

種目別正味収入保険料

(単位: 億円 / %)

種目	2004年9月末		2005年9月末		
	金額	増減率	金額	増減額	増減率
火災	417	6.0	447	30	7.2
海上	25	2.8	28	2	8.9
傷害	252	1.1	253	0	0.3
自動車	2,314	3.0	2,332	18	0.8
自賠責	444	1.0	434	10	2.3
その他	367	2.9	359	7	2.2
合計	3,822	0.8	3,855	33	0.9

自賠責政府再保険廃止影響を除く

主な増減収要因

(単位: 億円)

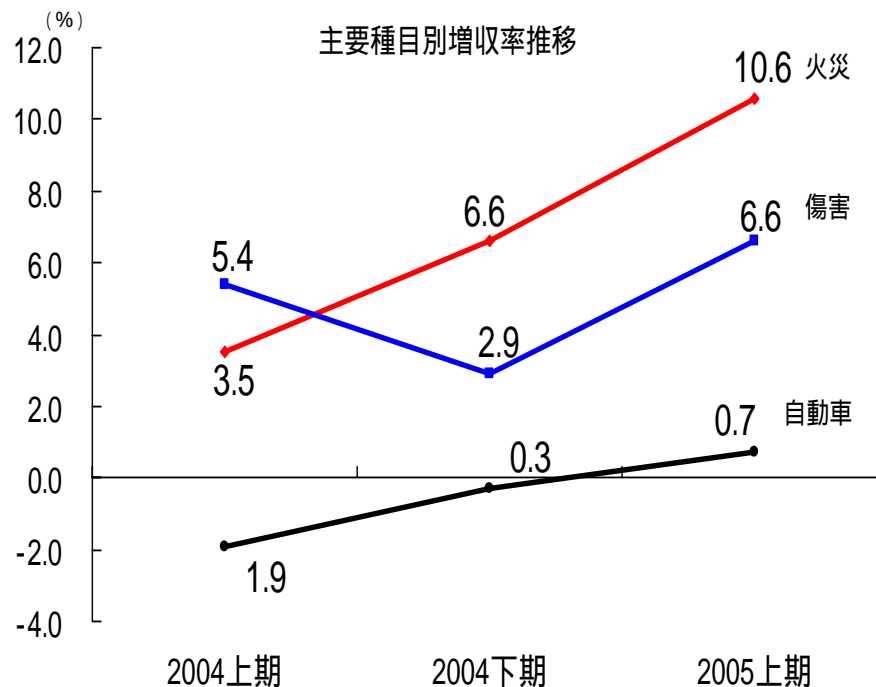
火災	元受正味 長期火災	+ 48
	海外受再保険	20
自動車	元受正味増収	+ 15

2. 収入保険料の状況 (2) 営業成績保険料

種目別営業成績

(単位：億円 / %)

種目	2004年9月末		2005年9月末		
	金額	増減率	金額	増減額	増減率
火災	461	3.5	510	49	10.6
海上	44	0.2	45	1	3.0
傷害	220	5.4	234	15	6.6
自動車	2,333	1.9	2,350	17	0.7
自賠責	706	0.6	781	74	10.5
その他	345	4.3	350	6	1.6
合計	4,108	0.0	4,270	162	3.9



火災保険は、長期火災の増加により大幅増収

自動車保険は、単価の改善により増収へ転換

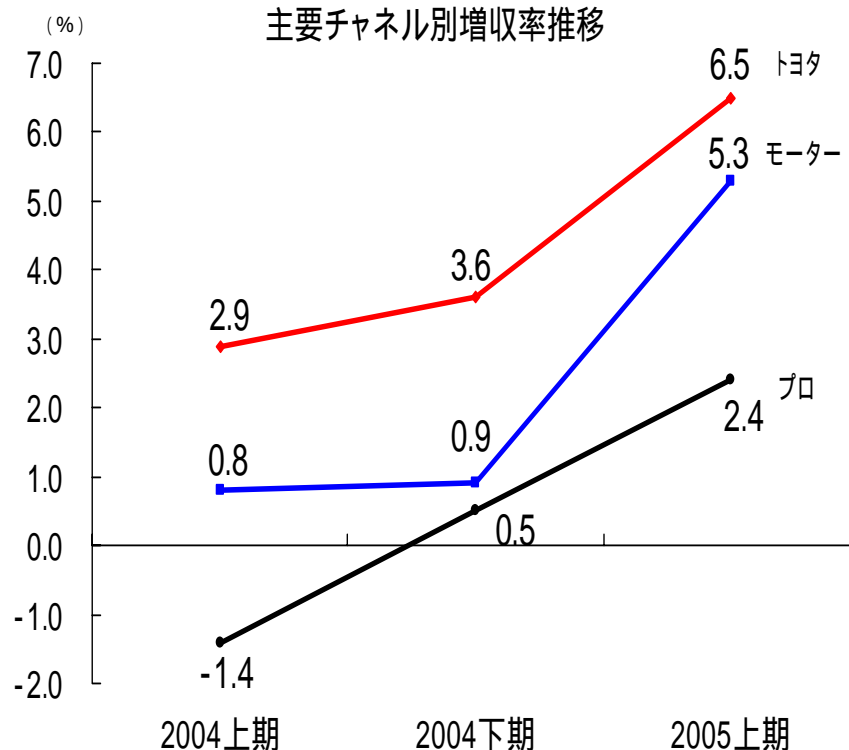
種目合計では、全種目で増収を実現したことにより3.9%の増収を確保

2. 収入保険料の状況 (2) 営業成績保険料

チャネル別営業成績

(単位：億円 / %)

チャネル	2004年9月末		2005年9月末		
	金額	増減率	金額	増減額	増減率
プ ロ	1,459	1.4	1,494	36	2.4
モ ー タ ー	819	0.8	862	43	5.3
トヨタグループ	867	2.9	923	57	6.5
トヨタG販売店	746	0.8	799	54	7.2
うちトヨタG企業	121	19.9	124	3	2.3
その他ディーラー	138	8.2	137	0	0.4
企 業	429	0.1	452	23	5.3
金 融	141	0.5	135	6	4.6
うち銀行窓販	21	11.7	18	3	16.0
そ の 他	255	1.8	266	11	4.4
合 計	4,108	0.0	4,270	162	3.9



最大ウェイトを占めるプロチャネルは、火災・傷害保険の増収により、増率2.4%と増収へ転化

モーターは、自賠責保険の増収により増率5.3%を確保

トヨタグループは、自動車・自賠責保険の増収により増率6.5%を確保

3. 支払保険金の状況

正味支払保険金・損害率推移

(単位：億円 / %)

	2004年9月末		2005年9月末		
	支払保険金	損害率	支払保険金	損害率	損害率増減
火災	168	42.4	159	37.4	5.0P
海上	12	50.9	14	52.4	1.5P
傷害	80	35.5	79	34.8	0.7P
自動車	1,262	59.2	1,234	57.4	1.8P
自賠責	236	61.8	227	61.6	0.2P
その他	377	106.6	301	87.9	18.7P
合計	2,138	60.6	2,014	56.9	3.7P

自賠責政府再保険廃止影響を除く

主な増減要因

(単位：億円)

火災	大口自然災害影響	15
	(前年度発生影響)	(+ 14)
	(今年度発生影響)	(29)
自動車	大口自然災害影響	21
	(前年度発生影響)	(+ 1)
	(今年度発生影響)	(22)
その他	海外受再保険	79

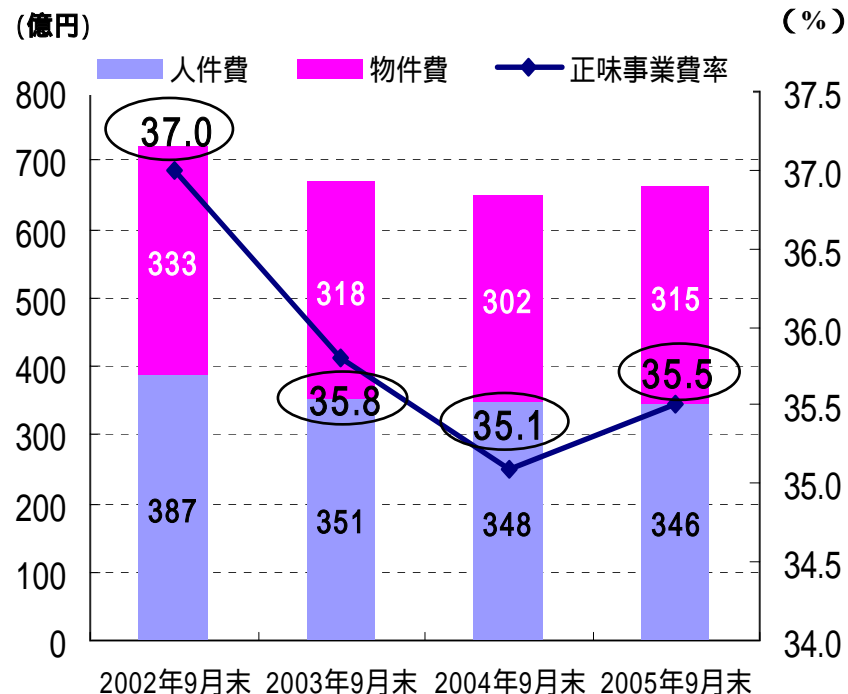
4. 事業費の状況

事業費の推移

(単位: 億円 / %)

	2004年 9月末	2005年 9月末	増減	
			増減額	増減率
人件費	348	346	2	0.7
物件費	302	315	13	4.4
保険引受に係る営業費 及び一般管理費	651	661	10	1.7
諸手数料及び集金費	691	706	15	2.2
正味事業費	1,342	1,368	25	1.9
正味事業費率	35.1	35.5	0.4P	

1 物件費には、拠出金・負担金、税金を含む
2 自賠責政府再保険廃止影響を除く



正味事業費は、保険料の増収に伴う諸手数料及び集金費の増加により25億円の増加
正味事業費率は、分母である正味保険料が増収したものの0.4Pの上昇

5. 資産運用の状況

資産運用損益

(単位：億円)

	2004年 9月末	2005年 9月末	増減額
資産運用損益	192	161	31
利息及び配当金収入	215	217	1
有価証券売却益	99	44	55
有価証券評価損()	13	9	3
その他運用損益	5	11	16
金銭の信託運用損益	1	0	1
金融派生商品損益	10	6	4
売買目的有価証券運用損益	4	15	10
有価証券償還損益	-	0	0
為替差損益	0	1	0
その他運用損益	0	0	0
積立保険料等運用益振替	103	101	2

低金利が継続する中で、利息及び配当金収入は横這い

有価証券売却益は、政策株式の売却益の減少により 55億円の減少

その他運用損益では、売買目的有価証券運用損益の改善により16億円増加

6. 資本の状況

ソルベンシー・マージン比率

(単位：億円)

	2004年 9月末	2005年 3月末	2005年 9月末	対前期末 増減額
ソルベンシー・マージン総額	7,690	8,055	9,428	1,372
異常危険準備金 (地震保険危険準備金を含む)	2,408	2,288	2,606	318
その他有価証券の評価差額金 (税効果控除前)の90%	1,516	1,896	2,851	955
その他	3,765	3,870	3,969	98
リスクの合計	1,723	1,692	1,963	270
ソルベンシー・マージン比率	892.3%	951.9%	960.6%	8.7P

ソルベンシーマージン比率は、8.7Pの上昇

ソルベンシー・マージンは、異常危険準備金の積み上げ等により増加するも、リスクの合計も、リスクの算定規準の改定等により増加

有価証券含み損益

(単位：億円)

	2004年 9月末	2005年 3月末	2005年 9月末	対前期末 増減額
公 社 債	22	77	53	24
株 式	1,723	2,061	2,908	847
外 国 証 券	74	72	87	159
そ の 他	13	41	119	78
合 計	1,685	2,106	3,168	1,061

買入金銭債権を「その他」に含む

株式の含み益は、株価の上昇により847億円増加

外国証券の含み損益は、円安等により、87億円の含み益へ転換

政策保有株式の圧縮 (簿価ベース)

(単位：億円)

	2004年 9月末	2005年 3月末	2005年 9月末	対前期末 増減額
圧 縮 額	38	328	5	323
保 有 残 高	2,997	2,708	2,703	5

圧縮額及び保有残高は、減損処理後残高

政策保有株式の残高は横ばい

7. 異常危険準備金の状況

種目別の積立状況

(単位：億円 / %)

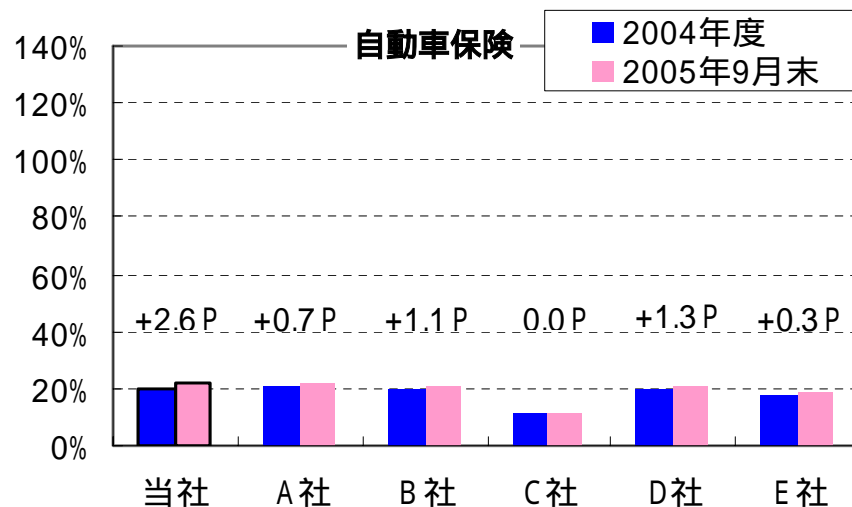
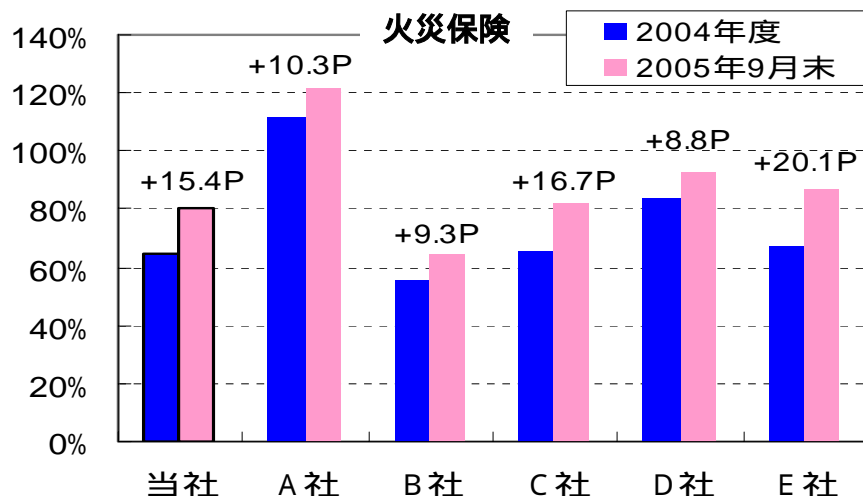
	2004年度		2005年9月末		
	金額	積立率	金額	積立率	増減率
火災	563	64.7	703	80.1	15.4P
海上	35	65.4	36	64.8	0.6P
傷害	284	57.7	291	57.6	0.1P
自動車	893	19.4	1,025	22.0	2.6P
その他	171	24.7	199	27.8	3.1P

* 積立率：中間期においては正味保険料(除く家計地震・自賠責)を2倍した上で算出

火災保険では、積立額が140億円増加、積立率が80.1%と15.4P上昇

自然災害リスクへの対応を強化するため、火災保険の繰入率を5.8%から8.0%へ引き上げた他、106億円の積み増しを実施

種目別積立率の他社比較



種目別積立率では、火災は遜色ない水準を確保、自動車はトップ水準を確保

8. あいおい生命 決算のポイント

(単位: 億円 / %)

	2004年 9月末	2005年 9月末		
		増減額	増減率	
新規契約高	5,153	5,204	50	1.0
個人・個人年金	4,481	4,866	384	8.6
団体・団体年金	671	337	334	49.7
保有契約高	44,937	51,136	6,199	13.8
個人・個人年金	36,172	40,811	4,638	12.8
団体・団体年金	8,765	10,325	1,560	17.8

(単位: 百万円 / %)

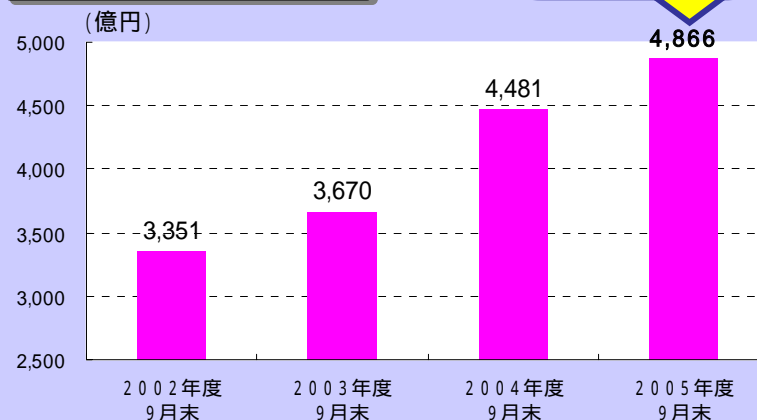
保険料等収入	29,740	33,725	3,985	13.4
資産運用収益	1,892	2,203	311	16.4
保険金等支払金	9,961	10,589	627	6.3
資産運用費用	73	0	72	99.3
総資産	210,846	246,448	35,602	16.9
ソルベンシー・マージン比率	1,891.7	1,788.2	103.5	

標準責任準備金達成に向けて9.7億円の積増しを実施
(前年同期は9.5億円の積増し)

積増しをしなかった場合、実質の税引前中間純利益10.1億円

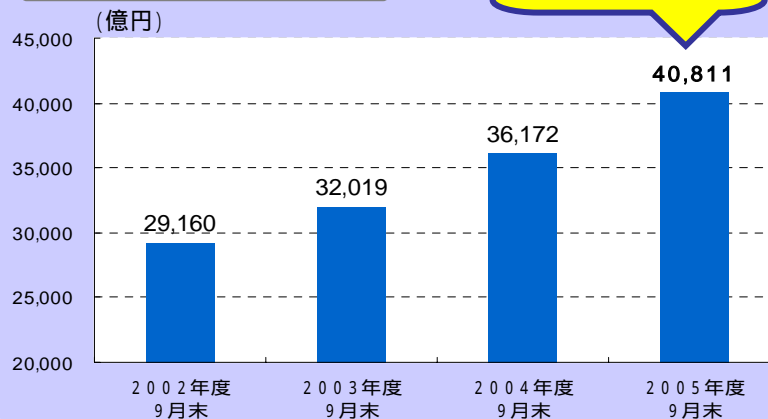
個人新規契約高

前年同期比 + 8.6%



個人保有契約高

前年同期比 + 12.8%



. 2005年度通期業績予想

2005年度通期業績予想

1. 業績予想のポイント

(単位：億円 / %)

	2004年度	2005年度		
		見通し	増減額	増減率
正味収入保険料	8,278	8,340	62	0.7
	7,609	7,690	81	1.1
正味支払保険金	4,989	4,831	158	2.3
	4,605	4,290	315	4.7
正味事業費	2,744	2,779	35	1.3
	2,744	2,779	35	1.3
保険引受利益	99	60	159	-
資産運用損益	380	227	153	40.3
経常利益	223	230	7	3.2
当期純利益	161	180	19	11.8
修正ROE	5.2%	5.6%	0.4P	
正味損害率	64.6	62.3	2.3P	正味損害率は 損害調査費込み
	65.2	60.5	4.7P	
正味事業費率	33.2	33.3	0.1P	
	36.1	36.1	0.0P	
コンバインド・レシオ	97.7	95.6	2.1P	
	101.3	96.6	4.7P	

正味保険料は、元受正味保険料の増収効果により1.1%の増収

正味支払保険金は、大口自然災害及び海外受再保険金の減少により4.7%の大幅減少

資産運用損益は、政策株式売却益の減少により153億円の減少

当期利益は、11.8%増の180億円を確保

ROEは5.6%と0.4Pの向上

1 下段は自賠責政府再保険廃止影響除く

2 修正ROE = 当期利益 ÷ (資本の部 - その他有価証券評価差額金)

下期重点取組

1. 事業戦略 (1) 増収力の確立

地域・リテールマーケット戦略

		上期取組状況				下期重点取組	
チャンネル連携 販売提携	ブ ロ	一般計 増収	+ 36億円 (+ 2.4%)	火災・ 人保険 増収	+ 22億円	住宅産業との連携による長期火災拡販 プラットフォーム戦略による火災・第三分野 商品の販売強化	
	住宅産業	一般計 増収	+ 35億円 (+ 21.4%)	火災 保険 増収	+ 31億円	住産チャンネル開拓及びプロ等との連携強化 フラット35の活用及びローン商品の拡充	
	金融	窓販	新規委託+15(内定含) 増収 3億円			窓販追加解禁向け新商品「ドルステージ (米国通貨建積立交通傷害)」の投入 新商品	
	販売提携	アクサ生命との販売提携は局地的					連携強化によるCCI会員への損保商品拡販
	地域版 IOI倶楽部	宮城・福島・埼玉・千葉・神奈川・広島で構築					新たに4地区で構築予定 サービス提供に加え、事業所開拓を強化
機能提携 機能強化	金融 サービス 事業	401k事業開始(2005年7月)					401k事業による中小事業所の囲い込み
		融資取次ぎ業務(代理・代行)への参入					融資取次ぎ業務による中小事業所の囲い 込み(新銀行東京との提携)

1. 事業戦略 (1) 増収力の確立

トヨタマーケット戦略

上期6.5%の増収を確保

レクサス販売店における取組みを“梃子”としてトヨタマーケットでの増収を加速する

	2004年9月末	2005年9月末	増率
グループ販売店	746億円	799億円	7.2%
グループ企業	121億円	124億円	2.3%
合計	867億円	923億円	6.5%

レクサスオーナーズ自動車保険プラン

レクサスオーナーズデスクとの連携

保険商談オペレーションの構築支援

レクサスオーナーズ自動車保険プランは好調なスタート

商品・サービス・教育支援の一体提供により「あいおいの強み」を発揮

レクサス販売店での
保険料目標
シェア50%超

トヨタとの連携による商品開発

	2004年9月末		2005年9月末		増率
	件数	収保	件数	収保	
コンビにプラン	25千件	26億円	27千件	28億円	7.8%
ながらくプラン	10千件	10億円	12千件	10億円	7.4%

トヨタの先進技術・金融事業と連動した商品開発

販売店の保険収益拡大支援

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年9月末
取引拠点拡大数	98	80	96	73	134

「保険業務改善活動」の加速
「フォローアッププログラム」の活用

グループ企業との取引拡大

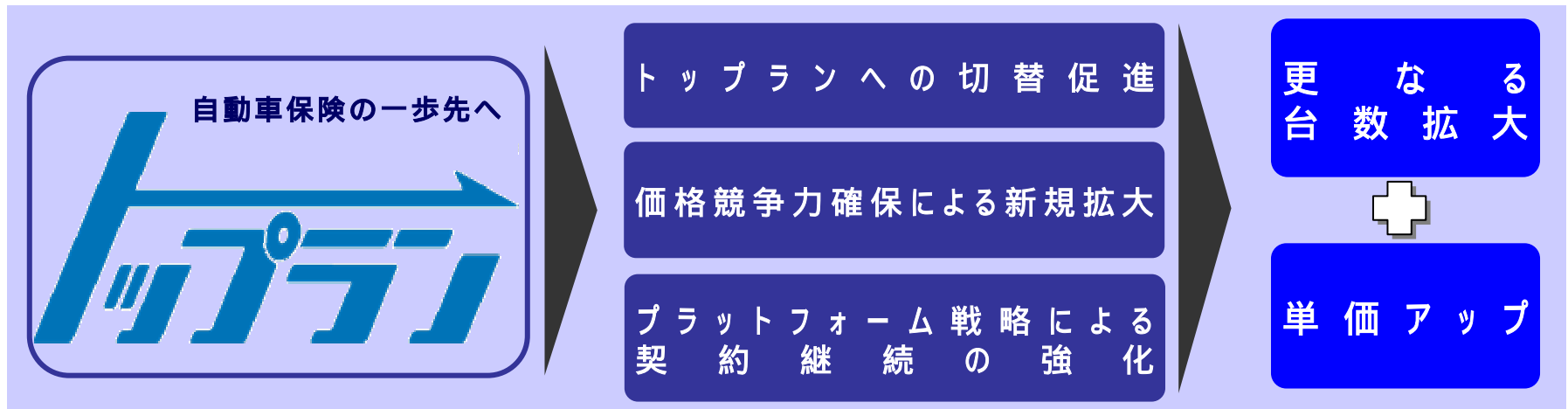
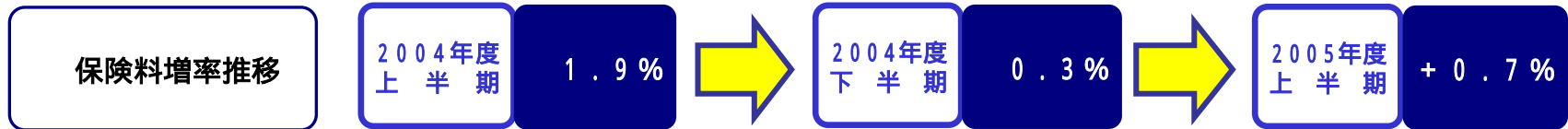
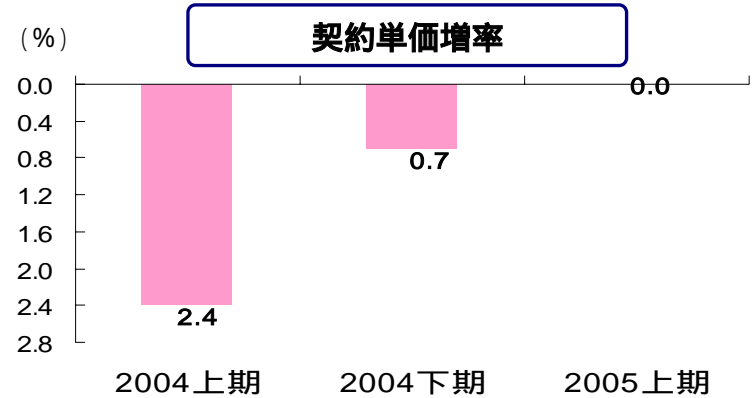
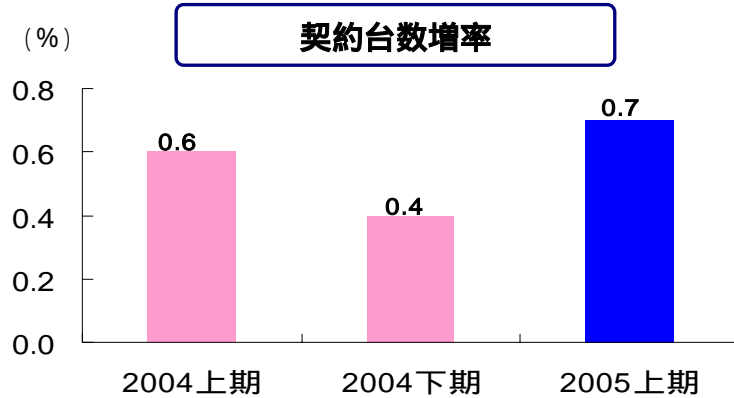
- ・ 管財・団体マーケットでのシェアアップ
- ・ 拡大し続けるトヨタマーケットの捕捉

住宅事業との連携強化

1. 事業戦略 (1) 増収力の確立

自動車保険戦略

(数値は営業成績ベース)

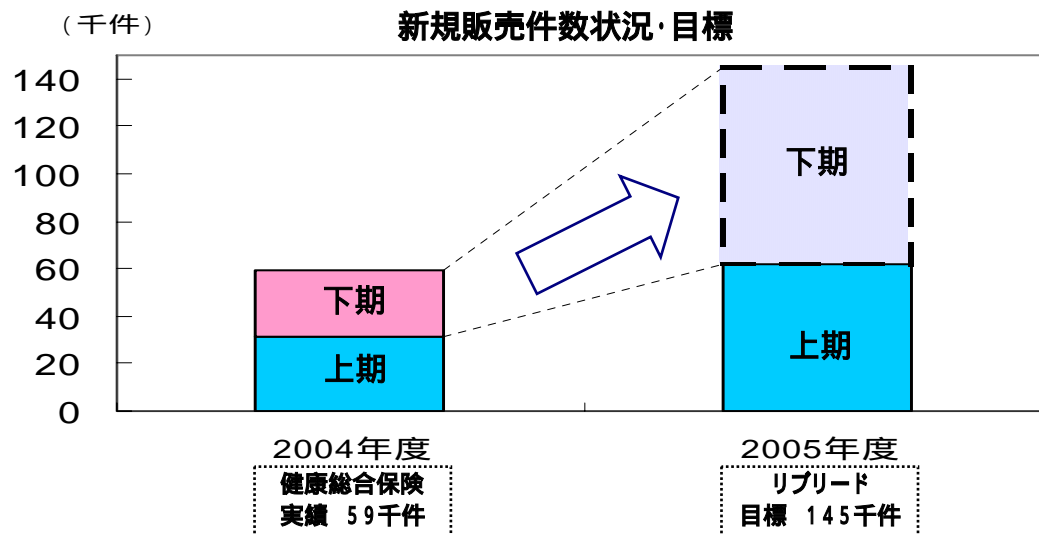


1. 事業戦略 (1) 増収力の確立

プラットフォーム戦略(自動車保険顧客を基盤としたクロスセル戦略)



今年度から第三分野に
プラットフォーム商品を新投入



		上 期 販 売 状 況	2 0 0 5 年 度 目 標
個人 マーケット	家 庭 総 合	41 千件	82 千件
中小企業 マーケット	事 業 者 総 合 險 建 設 業 総 合 險 運 送 業 総 合 險	5 千件	14 千件
	物 流 総 合		(年間10千件)

2005年11月新発売

1. 事業戦略 (2) 生産性・効率性の向上

営業構造革新

営業構造革新により、重複業務を排除し、効率化を図るとともに、営業店・営業担当者の機能や活動を変革し、生産性を引き上げることに伴い増収を図る。

		上期取組状況			下期重点取組																					
代理店	代理店業務革新	直接計上 64.7%	初回口振 52.2%	テ'イリ-精算 28.4%	直接計上 目標 80%	初回口振 目標 60%	テ'イリ-精算 目標 60%																			
	チャネル構造革新	一定規模まで進展			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2004年度</th> <th>2005年9月末</th> <th>2005年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務委託店</td> <td>1,717</td> <td>1,801</td> <td>2,150</td> </tr> <tr> <td>事務協業店</td> <td>124</td> <td>141</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>総轄代理店</td> <td>27</td> <td>29</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>				2004年度	2005年9月末	2005年度目標	事務委託店	1,717	1,801	2,150	事務協業店	124	141	200	総轄代理店	27	29	50			
	2004年度	2005年9月末	2005年度目標																							
事務委託店	1,717	1,801	2,150																							
事務協業店	124	141	200																							
総轄代理店	27	29	50																							
営業店	非自立代理店移管・傘下誘導	営業センター・総轄代理店への移管は進展			営業センターへの移管を強化 総轄代理店・協業代理店への傘下誘導強化																					
	三位一体型営業店体制構築	営業センターは進展したが、専業営業課・事務推進センターは下期課題			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2004年度</th> <th>2005年9月末</th> <th>2005年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専業営業課</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>事務推進センター</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>営業センター</td> <td>39</td> <td>42</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>* 上記以外の営業チーム</td> <td>28</td> <td>26</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				2004年度	2005年9月末	2005年度目標	専業営業課	11	11	23	事務推進センター	16	16	30	営業センター	39	42	60	* 上記以外の営業チーム	28	26
	2004年度	2005年9月末	2005年度目標																							
専業営業課	11	11	23																							
事務推進センター	16	16	30																							
営業センター	39	42	60																							
* 上記以外の営業チーム	28	26																								

生産性向上による増収
重複業務排除による効率化

1. 事業戦略 (3) 収益力の強化

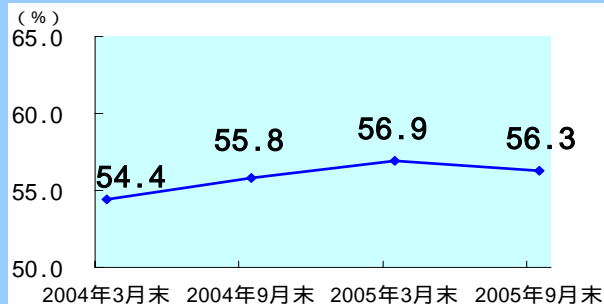
ロス改善

上期取組結果

下期重点取組

自動車保険の
ロス改善

E / I 損害率は低位安定



国内ロス改善の取組を継続強化
海外におけるロス改善の推進

業界トップクラスの損害率維持

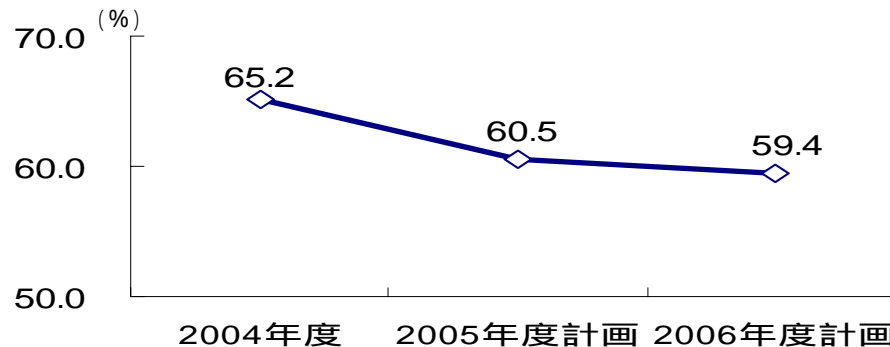
商品ポートフォリオ
の 変 革

火災・人保険の継続強化による商品ポートフォリオの変革

自動車保険E/I損害率は過去1年

正味損害率の改善

自賠責政府再保険廃止影響を除くベース



1. 事業戦略 (3) 収益力の強化

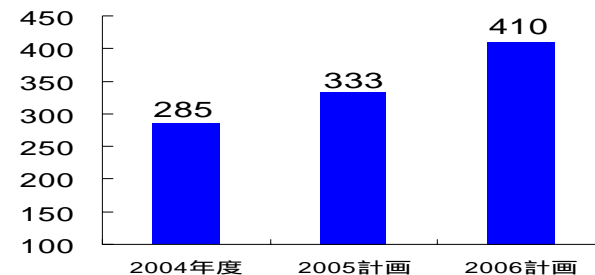
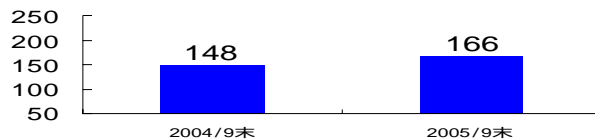
資産運用力の強化

	上期取組状況	下期重点取組
運用スタイル 毎の 機能強化 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">A L M</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">戦略的 アロケーション</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">オルタナティブ</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px;">負債マッチングの進展</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;">C D O 投資等への 運用拡大</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 5px;">個人ローンの 拡充</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">国内株・外債中心にキャピタルゲイン確保</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">市場低迷の対応として不振ファンド売却</div>	<p>負債マッチングを機動的に推進 ABS・CDS・CDO投資を拡大 住宅ローンへの参入とアパートローン 拡大</p> <p>環境予測体制の更なる拡充と、収益 源の多様化戦略の強化</p> <p>ファンド入替えによる運用収益の改善</p>
資産健全化 の推進 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">政策株式の圧縮</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">低収益資産の 圧縮</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">政策株式の保有額は横這い</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">過去のパフォーマンス、中期的な見通しを 踏まえた運用スタイル間の配分調整</div>	<p>政策株式の圧縮継続</p> <p>短期資金の圧縮による円債・外債等 への追加配分</p>
収益源 の拡大 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">運用の多様化</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">トータルアセットマネジメント 等との連携</div>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">証券化不動産等への新規投資</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">信用リスク分析の高度化推進</div>	<p>プライベートエクイティ投資の拡大と エマージング市場への投資を検討</p> <p>クレジットスプレッドの予測精度の向上</p>

1. 事業戦略 (4) 収益源の多様化

海外事業

元受現地収保状況 (単位: 億円)



上期取組状況

下期重点取組

欧州

F&I

増収 + 13 億円 (+ 18.8%)

規模拡大による収益の安定化
F & I の展開国拡大、新規事業の検討
欧州あいおいモーター & ジェネラル保険
の機能強化

豪中
亜国

F&I

増収 + 3 億円 (+ 43.8%)

中国での支店設立認可申請

F & I の展開国拡大に向けた体制整備
特化商品の開発・提供

元受体制強化に向けた検討

北口
シ
米ア

日系企業との取引推進

トヨタグループ企業との取引推進

元受体制強化に向けた検討
進出地域拡大に向けた検討
(ロシア駐在員事務所開設)

1. 事業戦略 (4) 収益源の多様化

生保事業

2005年度計画達成に向け、上期順調に推移
下期、新規契約拡大の加速とともに、業務品質
の向上を図る

	2005年度中間	2005年度計画
個人・個人年金新契約高	4,866億円	10,600億円
保有契約高	51,136億円	56,200億円
内個人・個人年金	40,811億円	45,000億円
実質経常利益	13億円	40億円

標準責任準備金積増前

	上期取組状況	下期重点取組
<p>新規契約の拡大</p> <p>お客様ニーズの 高い 独自商品の 拡充</p> <p>販売体制の強化</p>	<p>全マーケット共通 2005年6月最上級商品 「スーパー終身プレミアム」の発売</p> <p>トヨタ販売店向け商品 「TS CUBIC CARD」会員向けクレジットカード払 専用商品「ずっとラック」の拡販</p> <p>金融機関向け商品 2005年4月米国通貨建の定額型個人年金 保険「ドル物語」の発売</p> <p>生保推進マネジャーとLIM(ライフ・インシュア ランス・マネジャー)による販売力強化</p>	<p>全マーケット共通 「スーパー終身プレミアム」の拡販</p> <p>特定マーケット向け商品の推進 ・2005年10月「女性のための保険“カルナ”」 の発売 ・富裕層マーケット向け「ドル物語」の プロチャネルでの拡販</p> <p>事業保険・団体保険の推進 ・2005年12月「新通増定期保険」の発売</p> <p>生保推進マネジャーの生産性向上 LIMの採用強化</p>
<p>契約保全の強化</p> <p>業務品質の 向上</p>	<p>お客様サービスセンターを軸としたお客様へ の利便性あるサービス提供</p>	<p>お客様満足度・利便性向上に重点を置いた 業務推進</p>

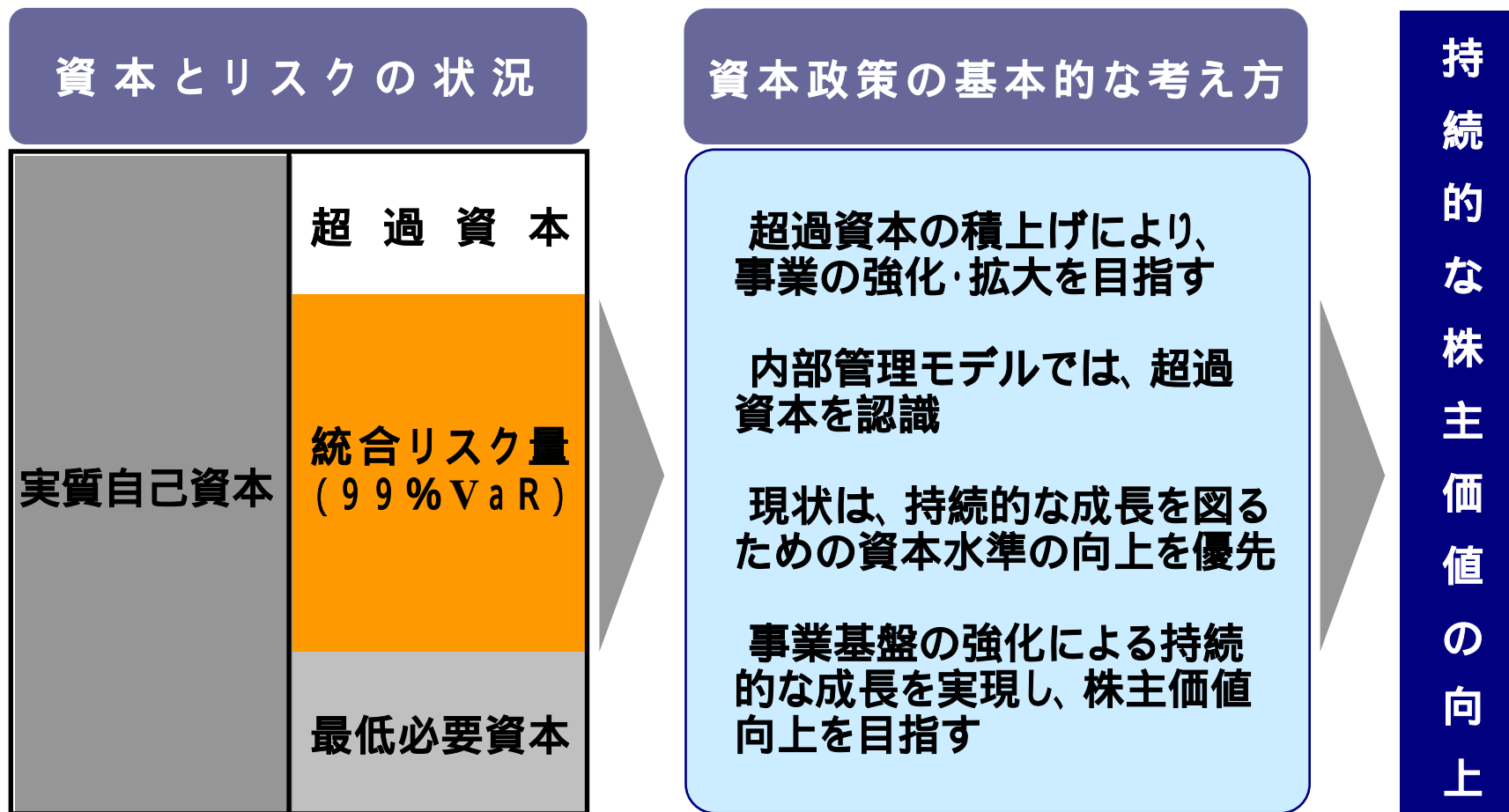
収益源の強化

運用の高度化

効率化に向けた構造改革

2. 資本政策

資本政策の基本方針



< 参考 >

中期経営目標

損保事業

	2004年度	2006年度	2004-2006 増減
正味収入保険料	7609億円	7980億円	371億円
対前年増収率	1.2%	3.4%	4.9%
正味損害率	65.2%	59.4%	5.8P
正味事業費率	36.1%	35.4%	0.7P
コンバインド・レシオ	101.3%	94.8%	6.5P
経常利益	223億円	290億円	67億円
当期純利益	161億円	180億円	19億円
修正ROE	5.2%	5.4%	0.2P
海外収保(現地元受)	285億円	410億円	125億円

1 自賠責政府再保険廃止影響を除く

2 修正ROE = 当期利益 ÷ (資本の部 - その他有価証券評価差額金)

生保事業

	2004年度	2006年度	2004-2006 増減
個人・個人年金新契約高	9,702億円	13,500億円	3,798億円
保有契約高	48,290億円	65,000億円	16,710億円
内個人・個人年金	38,781億円	52,000億円	13,219億円
実質経常利益	33億円	50億円	17億円

標準責任準備金積増前

フォートレス・リー航空再保険の状況

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年9月末
正味保険金	322億円	362億円	389億円	290億円	83億円
支払備金残高	1167億円	884億円	616億円	459億円	423億円

あいおい損害保険株式会社

経営企画部 I R グループ

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1 - 2 8 - 1

T E L : (0 3) 5 7 8 9 - 7 1 3 5

F A X : (0 3) 5 4 8 9 - 6 4 6 5

E-mail : kazuhiro-narita@ioi-sonpo.co.jp

本資料および付属の資料編には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、こうした記述は、一定のリスクと不確実性を内包するものであります。

将来の業績、経営方針・戦略等は、環境の変化に伴い、変化・変動があり得ることにご留意ください。

2005年度中間決算諸データ

1. 2005年度中間決算概要	P 1
2. 種目別保険料・保険金	P 2
3. 種目別保険料・保険金(除く特殊要因)	P 3
4. 種目別受再保険料・保険金	P 4
5. 正味事業費内訳	P 5
6. 異常危険準備金	P 5
7. 総資産・運用資産	P 6
8. 長期性資産	P 6
9. 資産査定(貸付金)	P 6
10. リスク管理債権	P 6
11. 有価証券関係	P 7
12. 固定資産の減損	P 7
13. 自動車盗難の被害実態	P 7
14. 自然災害の影響	P 8

1. 2005年度 中間決算概要

(単位:億円)

	2004年度中間	2005年度中間	比較増減	増減率
1. 正味収入保険料	4,163	4,188	25	0.6%
2. 正味支払保険金	2,304	2,265	38	1.7
3. 損害調査費	178	178	0	0.0
4. 正味事業費	1,342	1,368	25	1.9
営業収支残	338	376	37	11.2
5. 支払備金積増	134	40	174	
6. 異常危険準備金積増	134	308	174	
保険引受利益	92	42	50	-
資産運用損益	192	161	31	
(うち利息及び配当金収入)	(215)	(217)	(1)	
(うち有価証券売却損益)	(99)	(44)	(55)	
(うち有価証券評価損)	(13)	(9)	(3)	
経常利益	72	89	17	23.5
特別利益	94	115	20	
特別損失	95	56	38	
当期利益	51	92	41	80.3

ポイント
増減のうち 国内元受任意 +55億(うち火災 +49億、自動車 +13億)、自賠責 18億(料率改定影響)
増減のうち 国内元受任意 21億(うち自動車 25億)、自賠責 +75億(政府再保険廃止影響 +84億)、外国 88億
大口自然災害影響 +17億(対前年 131億)
繰入:普通火災(8.0%+追加積立 106億)、自動車(7.9%)

うち国内株式 26億(対前年 56億)

前中間	当中間
FR関連訴訟受領金 85億	FR関連訴訟受領金 110億
減損損失 84億	子会社関連損失 31億、減損損失 16億

(諸比率)

正味保険料増収率	0.7%	0.6%	1.3%
正味損害率	59.6%	58.3%	1.3%
正味事業費率	32.2%	32.7%	0.5%
コンバインドレシオ	91.9%	91.0%	0.9%
収支残率	8.1%	9.0%	0.9%

財務状況

	2004年度中間	2005年度中間	2004年度
総資産	25,644	26,638	25,691
自己資本	4,141	5,241	4,520
異常危険準備金	2,076	2,256	1,948
ソルベンシー・マージン比率	892.3%	960.6%	951.9%

(諸比率【除く自賠責政府再保険廃止影響】)

正味保険料増収率	0.8%	0.9%	1.7%
正味損害率	60.6%	56.9%	3.7%
正味事業費率	35.1%	35.5%	0.4%
コンバインドレシオ	95.7%	92.4%	3.3%
収支残率	4.3%	7.6%	3.3%

大口自然災害状況(9月末)

正味	2004年度 中間期	2005年度 中間期	増減
支払保険金	63	11	52
支払備金	148	17	131
発生保険金	211	28	183

2. 種目別保険料・保険金

・種目別元受正味保険料

(単位: 百万円、%)

種目	期別	2004年9月中間期		2005年9月中間期		2004年度		2005年度予想	
			増減率		増減率		増減率		増減率
火災		46,642	2.5	52,744	13.1	102,099	5.4	112,700	10.4
海上		2,556	2.2	2,704	5.8	4,910	2.6	4,900	0.2
傷害		26,276	3.0	26,442	0.6	50,588	2.0	52,800	4.4
自動車		230,074	2.2	231,598	0.7	457,454	1.4	462,500	1.1
自動車損害賠償責任		87,516	0.7	84,469	3.5	174,622	0.2	168,400	3.6
その他		37,712	4.1	36,642	2.8	68,783	2.2	69,900	1.6
合計		430,777	0.3	434,603	0.9	858,458	0.2	871,200	1.5

・種目別正味収入保険料

(単位: 百万円、%)

種目	期別	2004年9月中間期		2005年9月中間期		2004年度		2005年度予想	
			増減率		増減率		増減率		増減率
火災		41,788	6.0	44,796	7.2	88,591	5.8	96,000	8.4
海上		2,571	2.8	2,800	8.9	5,368	2.2	5,500	2.4
傷害		25,270	1.1	25,349	0.3	49,220	0.3	50,800	3.2
自動車		231,437	3.0	233,239	0.8	460,647	2.4	465,400	1.0
自動車損害賠償責任		78,574	0.8	76,767	2.3	154,455	0.5	150,300	2.7
その他		36,708	2.9	35,914	2.2	69,524	4.9	66,000	5.1
合計		416,351	0.7	418,868	0.6	827,807	1.1	834,000	0.7

・種目別正味支払保険金

(単位: 百万円、%)

種目	期別	2004年9月中間期			2005年9月中間期			2004年度			2005年度予想		
		損害率	増減		損害率	増減		損害率	増減		損害率	増減	
火災		16,886	42.4	2.3	15,924	37.4	5.0	55,894	65.0	22.6	34,500	37.6	27.4
海上		1,258	50.9	39.2	1,410	52.4	1.5	2,905	56.1	20.4	3,000	56.4	0.3
傷害		8,044	35.5	3.7	7,905	34.8	0.7	16,284	36.5	3.9	17,000	36.8	0.3
自動車		126,272	59.2	2.0	123,411	57.4	1.8	263,849	62.0	0.7	266,000	62.0	-
自動車損害賠償責任		40,240	56.1	12.8	47,764	67.5	11.4	85,243	60.4	13.3	100,100	71.8	11.4
その他		37,702	106.6	8.9	30,134	87.9	18.7	74,792	111.2	8.7	62,500	98.6	12.6
合計		230,404	59.6	2.1	226,551	58.3	1.3	498,969	64.6	3.8	483,100	62.3	2.3

* 正味損害率(%) = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料

3. 種目別保険料・保険金(除く特殊要因)

・種目別正味収入保険料(自賠償政府再保険廃止影響を除く)

(単位:百万円、%)

種目	期別	2004年9月中間期		2005年9月中間期	
		金額	増減率	金額	増減率
火災		41,788	6.0	44,796	7.2
海上		2,571	2.8	2,800	8.9
傷害		25,270	1.1	25,349	0.3
自動車		231,437	3.0	233,239	0.8
自動車損害賠償責任		44,480	1.0	43,472	2.3
その他		36,708	2.9	35,914	2.2
合計		382,257	0.8	385,574	0.9

種目	2004年度		2005年度予想	
	金額	増減率	金額	増減率
火災	88,591	5.8	96,000	8.4
海上	5,368	2.2	5,500	2.4
傷害	49,220	0.3	50,800	3.2
自動車	460,647	2.4	465,400	1.0
自動車損害賠償責任	87,548	0.7	85,300	2.6
その他	69,524	4.9	66,000	5.1
合計	760,900	1.2	769,000	1.1

・種目別正味支払保険金(自賠償政府再保険廃止影響を除く)

(単位:百万円、%)

種目	期別	2004年9月中間期			2005年9月中間期		
		金額	損害率	増減	金額	損害率	増減
火災		16,886	42.4	2.3	15,924	37.4	5.0
海上		1,258	50.9	39.2	1,410	52.4	1.5
傷害		8,044	35.5	3.7	7,905	34.8	0.7
自動車		126,272	59.2	2.0	123,411	57.4	1.8
自動車損害賠償責任		23,664	61.8	4.0	22,708	61.6	0.2
その他		37,702	106.6	8.9	30,134	87.9	18.7
合計		213,829	60.6	0.7	201,495	56.9	3.7

種目	2004年度		2005年度予想	
	金額	損害率	金額	損害率
火災	55,894	65.0	34,500	37.6
海上	2,905	56.1	3,000	56.4
傷害	16,284	36.5	17,000	36.8
自動車	263,849	62.0	266,000	62.0
自動車損害賠償責任	46,843	62.7	46,000	63.1
その他	74,792	111.2	62,500	98.6
合計	460,569	65.2	429,000	60.5

* 正味損害率(%) = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料

4. 種目別受再保険料・保険金

・種目別受再正味保険料

種目	期別	2004年9月中間期		2005年9月中間期	
			増減率		増減率
火災		6,578	7.0	4,866	26.0
海上		728	13.6	852	17.1
傷害		52	55.9	363	588.9
自動車		4,334	35.5	4,400	1.5
自動車損害賠償責任		58,340	0.8	56,985	2.3
その他		4,010	51.1	4,327	7.9
合計		74,045	8.1	71,794	3.0

(単位:百万円、%)

種目	2004年度		2005年度予想	
		増減率		増減率
	12,779	12.1	9,900	22.5
	1,706	10.0	1,900	11.3
	955	5.3	1,000	4.6
	8,827	34.4	7,900	10.5
	114,497	0.5	111,300	2.8
	8,423	41.6	6,300	25.2
	147,190	7.3	138,300	6.0

・種目別受再正味保険金

種目	期別	2004年9月中間期		2005年9月中間期			
		損害率	増減	損害率	増減		
火災		2,503	38.1	60.1	1,841	37.8	0.3
海上		630	86.6	182.6	897	105.3	18.7
傷害		41	-	-	156	43.0	-
自動車		3,668	84.6	9.7	2,815	64.0	20.6
自動車損害賠償責任		40,240	69.0	17.3	47,764	83.8	14.8
その他		17,296	431.3	200.3	15,057	348.0	83.3
合計		64,298	86.8	7.4	68,532	95.5	8.7

(単位:百万円、%)

種目	2004年度			2005年度予想		
	損害率	増減		損害率	増減	
	66.0	27.9	6,500	65.7	0.3	
	92.2	80.2	1,800	94.7	2.5	
	26.6	6.6	400	40.0	13.4	
	80.9	11.3	5,800	73.4	7.5	
	74.5	18.1	100,100	89.9	15.4	
	455.7	157.9	27,400	434.9	20.8	
	95.8	10.1	142,000	102.7	6.9	

5. 正味事業費内訳

(単位:百万円、%)

	2004年9月中間期			2005年9月中間期			2004年度			2005年度予想			
		増減率	保険料比		増減率	保険料比		増減率	保険料比		増減率	保険料比	
損害調査費	人件費	46,778	1.9	11.2	46,610	0.4	11.1	93,966	2.2	11.4	93,600	0.4	11.2
+	物件費	34,196	5.3	8.2	35,500	3.8	8.5	74,976	2.9	9.1	76,400	1.9	9.2
営業費及び	税金等	6,069	4.3	1.5	5,945	2.0	1.4	10,081	3.8	1.2	10,100	0.2	1.2
一般管理費	計	87,044	3.4	20.9	88,056	1.2	21.0	179,024	2.6	21.6	180,100	0.6	21.6
保険引受に係る 営業費及び一般管理費		65,106	2.8	15.6	66,188	1.7	15.8	135,673	2.1	16.4	136,100	0.3	16.3
諸手数料及び集金費		69,152	2.7	16.6	70,654	2.2	16.9	138,783	1.8	16.8	141,800	2.2	17.0
事業費		134,258	2.8	32.2 (35.1)	136,843	1.9	32.7 (35.5)	274,456	1.9	33.2 (36.1)	277,900	1.3	33.3 (36.1)

* ()内は自賠償政府再保険廃止影響を除いております。

6. 異常危険準備金

(単位:百万円、%)

期別 種目	2004年9月中間期	2004年度	2005年9月中間期	
	(積立率)	(積立率)	(積立率)	対前中間増減 対前期末増減
火災	67,845 (82.6)	56,358 (64.7)	70,379 (80.1)	2,533 14,021
海上	3,418 (66.5)	3,509 (65.4)	3,628 (64.8)	210 119
傷害	27,705 (54.8)	28,415 (57.7)	29,178 (57.6)	1,473 763
自動車	93,305 (20.2)	89,366 (19.4)	102,507 (22.0)	9,202 13,141
その他	15,409 (21.0)	17,160 (24.7)	19,984 (27.8)	4,575 2,824
合計	207,685 (30.8)	194,809 (29.0)	225,679 (33.1)	17,994 30,869

(2005年9月中間期)

取崩額	繰入額	
-	14,021	...普通火災繰入率8.0% +追加積立106億
-	119	
-	763	
5,319	18,460	...繰入率7.9%
553	3,378	
5,873	36,742	

* 積立率 = 異常危険準備金の残高 ÷ 正味収入保険料(除く家計地震・自賠償) × 100
 なお、中間期については、正味収入保険料(除く家計地震・自賠償)を2倍した上で算出しております。

7. 総資産・運用資産

(単位:百万円)

	2004年9月中間期	2005年9月中間期	増 減	2004年度
有価証券	1,537,505	1,676,250	138,745	1,585,414
公社債	596,299	592,582	3,717	610,128
株式	507,192	601,173	93,981	512,254
外国証券	365,782	384,951	19,169	376,032
その他の証券	68,230	97,542	29,312	86,999
貸付金	342,656	342,419	237	343,015
土地・建物	143,989	141,290	2,699	143,775
その他	540,250	503,911	36,338	496,908
総資産	2,564,401	2,663,871	99,469	2,569,113
(うち運用資産)	2,229,449	2,399,238	169,788	2,248,858

8. 長期性資産

(単位:百万円)

	2004年9月中間期	2005年9月中間期	増 減	2004年度
長期性資産	707,179	651,580	55,598	678,138

9. 資産査定(貸付金)

(単位:百万円、%)

	2004年9月中間期 (W/T)	2005年9月中間期 (W/T)	増 減 (W/T)	2004年度 (W/T)
合計	342,656 (100.0)	342,419 (100.0)	237 (-)	343,015 (100.0)
非分類資産計	312,722 (91.3)	326,919 (95.5)	14,196 (4.2)	326,530 (95.2)
分類対象資産計	29,934 (8.7)	15,500 (4.5)	14,433 (4.2)	16,485 (4.8)
分類	19,216 (5.6)	11,030 (3.2)	8,186 (2.4)	11,848 (3.5)
分類	9,006 (2.6)	4,298 (1.3)	4,708 (1.3)	4,483 (1.3)
分類	1,711 (0.5)	171 (0.1)	1,539 (0.4)	152 (0.0)

10. リスク管理債権

(単位:百万円、%)

	2004年9月中間期	2005年9月中間期	増 減	2004年度
破綻先債権	227	18	209	117
延滞債権	21,693	11,273	10,419	11,497
3カ月以上延滞債権	723	336	387	307
貸付条件緩和債権	4,887	275	4,612	246
リスク管理債権計	27,532	11,903	15,629	12,169
貸付金	342,656	342,419	237	343,015
対貸付金割合	8.0	3.5	4.5	3.5

11. 有価証券関係

(1) 有価証券の含み損益

	2004年9月中間期	2005年9月中間期	増減
公 社 債	22	53	30
株 式	1,723	2,908	1,185
外 国 証 券	74	87	161
そ の 他	13	119	105
合 計	1,685	3,168	1,483

* 買入金銭債権は「その他」に含めております。

(単位:億円)

2004年度
77
2,061
72
41
2,106

(2) 減損処理による有価証券の評価損

	2004年9月中間期	2005年9月中間期	増減
公 社 債	-	-	-
株 式	13	9	3
外 国 証 券	-	-	-
そ の 他	-	-	-
合 計	13	9	3

(単位:億円)

2004年度
0
13
0
-
13

12. 固定資産の減損

	2004年9月中間期	2005年9月中間期	増減
土 地	50	5	44
建 物	34	10	23
合 計	84	16	68

(単位:億円)

2004年度
50
34
85

13. 自動車盗難の被害実態

	2004年9月中間期	2005年9月中間期	増減
支 払 件 数	3,302件	3,327件	25件
支 払 保 険 金	32	30	1
支 払 備 金	12	10	2

* 自社幹事契約の自社分(元受ベース)

(単位:億円)

2004年度
6,909件
68
12

14. 自然災害の影響

		2004年9月中間期	2005年9月中間期	増減	(単位:億円)
					2004年度
元 受	火災	39	8	31	404
	自動車	25	3	22	78
	その他	1	0	1	15
	支払保険金	65	11	54	497
	支払備金	242	18	224	40
	計	307	29	278	537
正 味	火災	37	8	29	261
	自動車	25	3	22	62
	その他	1	0	1	13
	支払保険金	63	11	52	336
	支払備金	148	17	131	23
	計	211	28	183	359
異常危険準備金取崩		25	3	22	215
ネット影響額()		186	25	161	144

* 当年度中に発生した大口自然災害にかかる支払保険金・支払備金を記載しております。

【正味損害率への影響】

		2004年9月中間期	2005年9月中間期	増減	(単位:%)
					2004年度
火災		8.9	1.8	7.1	29.5
自動車		1.1	0.1	1.0	1.3
その他		0.3	0.0	0.3	1.8
計		1.5	0.3	1.2	4.1